

必ずお読みください。

インフルエンザの定期接種を受ける前に

インフルエンザの定期接種を実施するにあたり、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、以下のワクチンに関する情報を必ずお読みいただいた上で、表面の予診票にはできるだけ詳しくご記入下さい。また、ご高齢などでご自身での記入が難しい方が接種を希望する場合は、健康状態をよく把握しているご家族の方など代理人がご記入ください。

※この予防接種は個人の予防のために行うものであり、接種の義務はありません。

※ご本人の接種を希望する意思が確認できない場合は接種できません。

【インフルエンザワクチンについて】

インフルエンザは罹患率が高く、高齢者や慢性疾患患者は肺炎を併発し重症化しやすい疾病です。ワクチンは重症化予防が期待できるとされています。主な副反応は局所の発赤、腫脹、疼痛などです。全身反応として、発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、嘔吐・嘔気、下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛などがありますが、通常 2～3 日中に消失します。重大な副反応として、まれにショック、アナフィラキシー（じんましん、呼吸困難、血管浮腫等）があらわれることがあり、そのほとんどは接種後 30 分以内に生じますが、まれに接種後 4 時間以内（アナフィラキシーの副反応報告基準）に起こることもあります。

【接種不適当者（予防接種を受けることが適当でない方）】

次のいずれかに該当すると認められる場合には、予防接種は受けられません。

- ①接種当日、明らかな発熱を呈している方。明らかな発熱とは、通常 37.5℃以上をいいます。
- ②重篤な急性疾患にかかっている方。
- ③予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方。鶏卵、鶏肉、その他鶏由来のものに対して、アナフィラキシーをおこした既往歴のある方も接種できません。
- ④インフルエンザの定期接種で、接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方。
- ⑤その他、予防接種を行うことが不適当な状態にある方。

【接種要注意者（接種の判断を行うに際し、注意を要する方）】

健康状態及び体質を勘案し、次のいずれかに該当すると認められる場合には、予防接種の効果と副反応について十分に説明を受け、接種することに同意した上で予防接種を受けて下さい。

- ①心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する方。
- ②過去にけいれんの既往のある方。
- ③過去に免疫不全の診断がされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方。
- ④間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患を有する方。
- ⑤接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方。

【ワクチン接種後の一般的注意】

- ①ワクチン接種後 24 時間は副反応の出現に注意し、観察しておく必要があります。特に、接種直後の 30 分以内は健康状態の変化に注意する必要がありますので、接種した医療機関で様子をみましょう。
- ②予防接種当日の入浴は差し支えありません。また、接種部位は清潔に保ってください。普段通りの生活で構いませんが、激しい運動は避けて下さい。
- ③接種後は自らの健康管理に注意し、もし、高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気付いた場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい。

【定期接種の費用助成】

対象者： 八代市内に住民登録があり、本人が接種を希望する①または②に該当する方

- ①接種日当日に 65 歳以上の方
- ②60～64 歳の方で心臓、腎臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する方及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方（身体障害者手帳 1 級相当）

実施期間： 令和3年10月1日～令和3年12月31日 ※期間終了後は全額自己負担です。

自己負担額(税込)： 1 回目のみ 1,350 円～ ※2 回目以降は全額自己負担です。

医療機関の接種料金と自己負担額の差額を八代市が負担します。ただし、医療機関の接種料金が八代市の設定する接種料金（外来 4,710 円、入院・入所 3,699 円）より高い場合、自己負担額が 1,350 円以上となります。

生活保護を受給している人は、接種料金を 1 回目のみ外来 4,710 円まで、入院・入所 3,699 円まで八代市が負担します。

八代市役所生活援護課が発行した生活保護受給証明書と予診票を医療機関に提出してください。

定期接種は
1 回です

八代市インフルエンザ予防接種済証（本人控）

接種後は、この接種済証を大切に保管してください。接種医療機関または医師名の無いものは無効です。